



チャング

民族楽器の生演奏の  
楽しさが、うたごえが  
会場いっぱいにあふれます。



フク

## プログラム

### ■ 山や川

むかし、むかし。大地はできたばかりで一面の泥沼。それがどうして山や川になったかというお話。

### ■ じしんのわけ

こわい、こわいじしんが何故おこるか、というお話。

### ■ トケビにかつたパウイのお話

とてもかしく強い少年パウイ。大きな大きなおそろしいトケビ。さあ、どうやってトケビにかつたでしょう。

### ■ ネギをうえた人

むかし人間が人間をたべていた。それは、人間が牛にみえたから。さて、そこで……。

### ■ 楽器紹介

韓国・朝鮮の楽器を紹介し、演奏します。



「山や川」

### ■ 農楽

農民達が楽しんだ伝統的な楽器と踊りによる構成です。

### ■ 金剛山のトラたいじ

むかし。あるところに、うでの良い獵師がいた。何しろ、この獵師の名を聞くだけで、飛んでいる鳥もバタバタおちてくる。そんな話が生まれるほどであった。その頃、金剛山には、おそろしいトラの一族がすんでいて、とって食われるものは数知れなかった。獵師は火縄銃をかついで金剛山にむかった。そして、それきり帰ってこなかった。獵師の息子は、なぜ父親が帰らなかったのかを知り、火縄銃の修行を続けた……。



「金剛山のトラたいじ」

## ロングラン公演の蓄積を 1時間20分のステージにこめました。



デピョン

### 89年・95年・97年・2000年・2002年韓国公演日韓交流に衝撃的反響

- 韓国的表現を多彩につかい、衝撃を与えた日本オペレッタ劇団ともしび (韓国・中央日報)
- (この夏の韓国の) 児童劇は創造精神の不在の中で、子どもたちを相手にした薄い商法による誠意のない荒い制作状況が実状であった。こういう中に、日本から来韓したオペレッタ劇団ともしびは初めて児童劇の神髄を見せてくれた。 (「客席」キム・ミト(演劇評論家))



### 昨日までの体育館が 今日は劇場に大変身!

劇団が舞台と観客席をコロシアム(円形劇場)風に設営します。体育館の広いフロアで身近にダイナミックに演じます。



アゼン



「トケビにかつたパウイのお話」



チン

韓国・朝鮮と日本との  
長い長い交流の歴史の中、  
隣の国の文化が私たちの心に響きます。

### かいせつ

韓国・朝鮮の民話には、壮大なスケールとロマンにみちたものがたくさんあります。日本の古事記に登場する神話のもとの物語と思われるものも多く、いわば、日本文化の源流とも言えるものが見受けられます。

私たちの生活は、たえず進歩し、変化し、とどまることを知りません。それは、今日の私たちのまわりをみてもわかります。けれども、人間の知識や生活がどんなに変わっても、人間が人間であるかぎり、人間としてのほこりや思いやりの心を失うことはないでしょう。

私たちの日本から一番近い国。そして古代から様々にまじわってきた国—韓国・朝鮮。韓国・朝鮮の民族楽器と踊りを取り入れたこの作品を通して、両国の歴史的なかわりの理解にも、というの、ひとつの願いです。

関矢幸雄演出によるオペレッタの新境地を!

### スタッフ

原 作……………金 素雲 編  
……………金 兩基  
構成・演出……………関矢幸雄  
音 楽……………井上正志  
美 術……………有賀二郎  
舞踊指導……………朴 貞子

### 演出家のことば



### 人間の真実の おもいを…

関矢幸雄

オペレッタや民話、もともと、働き合う人々のくらしの中からごく自然に生まれてきたものです。ですから、そこには、人と人、人と動物、人々と自然現象との真実のあり方を、大らかにあらわそうとしたものばかりです。お隣の国朝鮮(現在、二つに分かれているが)の民話には、その文化が育んだ素晴らしい数々の芸能と共に、鋭い諷刺がこめられています。今、オペレッタ劇団ともしびは、人間の真実のおもいを、朝鮮の民話に託して、世界の子どもの心に、大らかにうたい、かたり、演じようとするわけです。